

今日のトピック 2024年5月の注目イベント

FRBの利下げ観測が後退するなか、米経済指標に注目

- 米国では、4月30日～5月1日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。米連邦準備制度理事会（FRB）は3月のFOMCで、政策金利を5会合連続で据え置き、経済見通しでは年内3回としていた利下げ予想を維持しました。しかし、4月に入り発表された3月の雇用統計や消費者物価指数（CPI）は市場予想を上回る内容となり、米経済の底堅さとインフレ圧力の根強さを示しました。このためパウエル議長は4月16日、金融政策について「必要な限り現在の引き締めの水準を維持する」と述べ、利下げ転換に慎重な姿勢を示しました。FRBの利下げ観測が大きく後退するなか、今回会合の声明文やパウエル議長の会見、量的引き締め（QT）の資産圧縮ペースの減速方針が注目されます。また、その後発表される4月の雇用統計やCPI、個人消費支出（PCE）デフレーターなどの経済指標が注目されます。
- 日本では、16日に1-3月期のGDPが公表されます。認証試験不正問題に伴う自動車の減産や能登半島地震という一時的な要因で、実質GDPはマイナス成長になった可能性があります。ただし、4-6月期以降は、賃金の増加、経済対策（定額減税・給付金）により緩やかな成長軌道を辿るとみられます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2024年5月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:FOMC、4月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 2日:3月貿易収支 3日:4月雇用統計、4月ISM非製造業景況指数 10日:5月ミシガン大学消費者センチメント指数 14日:4月生産者物価指数(PPI) 15日:4月消費者物価指数(CPI)、4月小売売上高 16日:4月鉱工業生産	7日:ユーロ圏3月小売売上高 9日:イングランド銀行金融政策委員会 10日:イギリス1-3月期GDP 15日:ユーロ圏3月鉱工業生産	1-5日:中国労働節休暇 6日:中国財新4月非製造業PMI 7日:豪州金融政策決定会合 8日:ブラジル金融政策決定会合 9日:メキシコ金融政策決定会合 11日:中国4月PPI、4月CPI 17日:中国4月小売売上高、4月鉱工業生産、4月固定資産投資	9日:3月毎月勤労統計、3月景気動向指数 10日:3月家計調査、3月国際収支、4月景気ウォッチャー調査 14日:4月企業物価指数 16日:1-3月期GDP
22日:FOMC議事要旨 23日:5月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI)、4月新築住宅販売 28日:3月ケースシーラー住宅価格指数 31日:4月個人消費支出(PCE)デフレーター、4月PCE、4月個人所得	21日:ユーロ圏3月貿易収支 22日:イギリス4月CPI 23日:ユーロ圏5月製造業・非製造業PMI、ユーロ圏5月消費者信頼感 27日:ドイツ5月IFO企業景況感指数 31日:ユーロ圏5月CPI	23日:トルコ金融政策決定会合 31日:中国5月製造業・非製造業PMI、インド1-3月期GDP	22日:3月機械受注 24日:4月全国CPI 28日:4月企業向けサービス価格指数 31日:4月小売業販売額、4月鉱工業生産、4月住宅着工件数、4月失業率、4月有効求人倍率、5月東京都都区CPI

(注) 2024年4月19日現在。日付は現地時間。予定は変わる可能性があります。
(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之（いしい やすゆき）

ここもチェック! 2024年3月28日 2024年4月の注目イベント
2024年2月26日 2024年3月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。